



関中央ロータリークラブ

2016-2017 WEEKLY REPORT



例会日 毎週木曜日 18時30分

例会場 関観光ホテル（関市池尻91-2）

事務局 関市西本郷通5-2-53 TEL0575-24-7332・FAX0575-23-5278

会長: 石原 妙生 **副会長**: 川村 紳一 **幹事**: 波多野 篤志 **クラブ会報委員長**: 吉田 和也

2016~2017年
国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム

ロータリーで何か発見を！

2016~2017年度 関中央RC会長テーマ

四つのテスト
・真実かどうか
・みんなに公平か
・好意と友好を深めるか
・みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 第1900回例会 2017年6月4日（日）

長良川環境保全例会 / 担当 環境保全・社会奉仕・IA

前例会の記録

第1899回 2017年5月25日（木）

卓話 元各務原市埋蔵文化財センター所長

渡邊 博人様

テーマ 「古代のムゲツ氏」 / 担当 職業奉仕

*ロータリーソング「我等の生業」斉唱

*お客様紹介

元各務原市埋蔵文化財センター所長 渡邊博人様

*会長あいさつ 石原妙生会長

前回の例会からこの2週間の間にいろいろと行事に出席をする機会があり、大変忙しく過ごしました。



5月13日にはRI第2630地区の会員増強セミナーが四日市で行われ、次期の会長・幹事さんと出席しました。主なことは、活動については「不易」と「流行」の言葉が出て、目的等は変えないが、やり方は時代に合わせ変化させていくことが発展につながるの事。会員増強については、会長の熱意が会員に伝わらないと進まないということでした。

ここで問題を出します。この人たちの共通点はなんでしょう？

作家の瀬戸内寂聴、俳優の宝田明、元米大統領の

J・Fケネディ、ケンタッキーフライドチキンのカーネルサンダース、パナソニックの創業者 松下幸之助、建築家 清家清等です。答えは全てロータリアンです。それから最近テレビ等でよく見る、籠池氏もロータリアンです。まさか！意外でした。

さて、18日~20日までは台湾南隆ロータリークラブの創立22周年記念式典に6名で出席しました。

19日に行われた記念式典会場はクラシックなホテルで高天井の豪華なところで、200人以上の参加者の中、下手な中国語で自己紹介をし、続いて挨拶をしましたが、気後れしそうなのをやっとの思いでしのいでいました。

又、前日の18日にも南隆の有志の会員の方々に歓迎会を開いて頂きました。その時は、今までと違う「友情」や「おもてなし」で嬉しさが深く心に沁みて、何か彼らの“心”を感じて感激をしました。今回の訪台でより一層の絆が出来たと思います。今回行けなかった会員の方も是非一度出席をして頂きたいです。

最後に21日は関ロータリークラブの創立50周年記念で、講演会・式典・祝賀会と連続で、幹事と出席しました。講演会では櫻井よしこさんの優しい声

が子守唄の様で、前 2 列目でしたが前日までの疲れも有り、自然と目が閉じていました。

続く式典では、RI 会長の祝電披露や国会議員 3 名の出席、それに過去 5 年間の活動報告等が行われました。RI 会長の祝電は 50 年等区切には出るとの事。

祝賀会は中部学院大学の吹奏楽の演奏でオープニングをし、アトラクションでは居合切りの実演があり、宴席は終始和やかなの内に閉会となりました。

*卓話

元各務原市埋蔵文化財センター

所長 渡邊 博人様

テーマ 「古代のムゲツ氏」

関市や美濃市を流れる長良川の左

岸には関市の重竹遺跡、美濃市の観音堂遺跡など古代の大規模な遺跡が存在する。しかし古代の豪族「ムゲツ」氏が建てたとされる弥勒寺遺跡は対岸の池尻山と長良川に挟まれた狭い空間にある。なぜこうした場所に古代寺院が築かれたのか。その理由は長良川と池尻山が形成したこの特徴的な地形にある。古代の寺院は宗教施設であるとともに研究・教育機関であり、有事には堅固な要塞となりうる施設であった。山間地を流れる長良川が平野部の手前で山塊に挟まれ、流れを屈曲させるこの場所が川とその交通を支配するのに最適な場所だった。

「ムゲツ」は牟下、身毛、牟義、身毛津、牟儀都、牟宜都などと表記される。現在の関市とその周辺地域はかつての武儀郡であり、この地名も古くは牟下、務義、武芸、武義、武儀などと表記されていた。平安時代の斉衡二年(855 年)閏四月に武義(儀)郡は北半を群(郡)上郡として分離したが、それ以前の旧武義郡は美濃のほぼ三分の一を占める広大な領域であった。

「ムゲツ」に関する歴史資料として「乙丑年(665 年)十二月、美濃国牟下郡 大山里長牟下部知ツ 従者 田部児安」と読める木簡があり(奈良県飛鳥石神遺跡出土)、他の遺跡から出土した木簡には「牟義君」(酒船石遺跡)と書かれたものがある。「君」は古代の伝統的氏族に多い位である。

「ムゲツ」を氏族名とする人物として、大海人皇子(天武天皇)の舎人として壬申の乱に登場する「身毛君 広」がいる。彼は天武元年(672 年)六月二十二日、村



国連男依や和珥部臣君手とともに不破の道(関ヶ原)を塞ぎ、その恩賞として八十戸の封戸(租税)が与えられた。彼の子孫や一族と思われる人々はその後、度々史上に登場している。

・平城京出土木簡「越前国丹生郡曾博郷戸主牟儀都百足戸口同広足調波奈佐久一口(口は斗カ)」「天平十七年(745 年)四月十八日」越前国丹生郡曾博郷(現在の鯖江市内・池田町内)の牟儀都広足が調(税)として波奈佐久(ハナサク/カブなどの野菜、あるいは薬草の一種)を納めた。

・平城宮出土木簡「府召牟儀猪養右可問給依事召宜知」牟儀猪養が「兵衛」に召された。

・『続日本紀』天応元年三月庚申朔「授采女従六位上牟義都公真依〜」天応元年(781 年)三月采女の従六位上牟義都公真依〜。

また、平安時代の九二七年に編纂された『延喜式』によれば、宮中で年一度の若水を汲む重要な祭事に牟義都首氏が関わっていた。

こうした事績の反映なのか、それ以前の伝承にもムゲツ氏は登場する。

・『古事記』景行天皇段景行天皇が三野国造の祖、大根王の娘姉妹を召そうとして大碓命を派遣し、大碓命と弟比売の間に生れた押黒弟日子(オトヒコ)王が「牟宜都君等之祖」である。

・『日本書紀』景行天皇二七年 秋八月 熊襲が反乱を起こしたため日本武尊を遣そうとした。日本武尊は弓をよく射る者を連れて行きたいと言ったので、ある者が美濃国に弓の巧みな弟彦(オトヒコ)公というものがいますと申し上げた。

・『日本書紀』景行四十年七月大碓命を美濃に封じた。この大碓命が身毛津君・守君の祖である。

・『日本書紀』雄略七年八月舎人の吉備弓削虚空が故郷に帰ったが吉備下道臣前津屋が虚空を都に帰そうとしない。そのため天皇は身毛君丈夫を派遣した。

多くの伝承や古記録に名を留める「ムゲツ」氏は、『上宮記』にみられる「牟義都国造伊自牟良君」の娘が継体天皇の祖母という伝承から、大化の改新以前の地域支配者である「国造(クニノミヤツコ)」であり、大和朝廷とは代々密接な関係にあった。そのことが歴史上に数々の伝承を生む背景ともなったので

あろう。

***出席委員会**

会員数32名、本日の出席19名です。

***ニコボックス委員会**

・会長・副会長・幹事

元各務原市埋蔵文化財センター所長 渡邊博人様
本日の卓話 よろしくお願ひします。

・古田育則君

渡邊博人様、今日は大変ご無理を申し上げました。
よろしくお願ひ致します。

・小澤重忠君

渡邊博人様のご来場を歓迎して。

19名のご投函ありがとうございました。

***幹事報告**

・訃報の報告です。当地区パストガバナー福井隆男
様のご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

・6月ロータリーレートは1ドル110円です。

***メイクアップ報告**

5/13 次期会員増強研修セミナー

石原妙生君、波多野好文君、長谷川修君

5/14 I A教師部会

伊佐地金嗣君、波多野好文君、吉田和也君

5/20 関RC50周年記念講演会

伊佐地金嗣君、伊佐地司君、石原妙生君、大藪太君、
小川糧司君、小澤重忠君、神谷秀幸君、川村紳一君、
桜井秀義君、佐藤忍君、塚原康寿君、西田健一君、
波多野篤志君、古田博文君、古田育則君、前田仁夫
君

<次例会の案内>

第1901回 2017年6月8日(木)

卓話 (有)大野塗装 代表取締役

(一社)塗魂インターナショナル

副会長 大野 雅司様

テーマ 「ペンキ屋集団の社会貢献

塗魂ペインターズについて」

担当：クラブ会報